

フロイディッヒ・フリューゲル Freudig.Flügel

23年
12月号

2011年12月9日
編集・発行／大正会館内
大正フロイデ：西風 勝

2011. 11. 20

響け「第九」大正区の秋空に！！

日独交流一五〇周年記念 西洋菩提樹植樹式典で合唱

十一月二十日に大正区の平尾亥開公園にドイツ政府から贈られた「菩提樹」五本が植えられました。

これは「大正ドイツ友好の会」や大正区民合唱団「大正フロイデ」などの活動にちなみ、ドイツ政府から贈られたもので、今年が日独交流一五〇周年に当たることから、日本やドイツの各地で開催されている各種記念事業の一環です。

当日は、一〇〇名を超える関係者が集まり、大正区とドイツとの友好を確認すると共に、(社)大阪日独協会を通じてドイツ政府から贈られた、ドイツ人に特に親しまれている「菩提樹」を植樹しました。

そして式典の最後は「菩提樹」などのドイツ民謡や「第九」を大正フロイデが合唱し、これからの大正とドイツの友好を誓い合いました。ドイツ連邦共和国総領事館を代表してスヴェン・クナート氏は「大正区ほど日独友好にふさわしい場所ほ他に無いでしょう。収容所跡にその歴史を留めるための記念碑が建てられ、さらに今日植えられた菩提樹もまた両国関係の生きた記念碑となると述べられました。」



胸一杯の 幸せに涙



アルト

宮城光子

「大正フロイデ」、元氣と幸せ、有難うございます。

今まで親友の若尾君代さんが、大阪混声合唱団の谷幹夫先生や和泉混声合唱団の松浦州吉先生の指導の下、いずみホールで行うコンサートに参加されていましたので、毎年聞きに行っていました。いつか私も、第九を歌ってみたいと思っていましたところ、大正区民合唱団の募集があったので、急ぎ友人を誘って入団致しました。

でも今迄は、演奏会を聞きに行っても、クラシックを歌った事はありませんでした。

そんな私でしたが、五年前の第一回目コンサートから出場させて頂きました。先生方の必死の指導の下、なんと皆さんについて歌い上げ、ほっと一息ついた時、胸が一杯になり、幸せで涙が溢れ、これまでの自分の人生の苦勞がどこかへ飛んで行ってしまった様な感動を覚えました。

この姿を、すでに他界し

た両親や遠い故郷の姉たちに見て貰えたらどんなに喜んでくれた事でしょう。

大勢の皆さんとご一緒に声をいっしょに歌うという事が、こんなにも素晴らしい事だと感動致しました。又、九月の五周年記念コンサートには、あの難しいモツレクを、私にとつて夢の様ないずみホールで、素晴らしいドレスを着て歌う事が出来た事、この上ない喜びでした。

そして、十月には、旭区民センターでの大阪コミュニケーション合唱祭に参加させて頂き、他の区の合唱団の方たちの歌も楽しく聞かせて頂きました。

そして各地区の皆さんが、和気藹々とお話していらつしやるのを見て心が和み、会場の方達と共に歌う合唱にも感動しました。

第九をやつと歌える様になったかな(？)と思う間もない難しいモツレクでした。

仕事の合間を縫いくぐりながら、皆さんの足手まといにならぬ様、頑張つて参ります。

これからどうぞ大正フロイデの仲間として引つ張って行つて下さい。

後になりましたが、西本先生、小川先生、他役員の皆様、感謝申し上げます。有難うございました。